

# 矢崎総業と林業 参入で実現したいこと

## 栲原町との協業から見えてきた課題

### 社会課題

- ・地球温暖化 (CO<sub>2</sub> 削減)
- ・林業従事者の減少 / 高齢化
- ・土砂崩れ / 自然災害
- ・生物多様性保全

### 栲原町の課題

- ・担い手 (林業従事者) 不足
- ・作業の安全 / 省力 / 効率化
- ・資材費の高騰
- ・木材価値の向上

### YAZAKI の経営課題

- ・既存事業の将来性
- ・旧新規事業の立て直し
- ・環境変化への適応
- カーボンニュートラル
- 100年に1度の大変革

## 取り組み意義

矢崎グループで林業 (造林事業) に参入し、各ステークホルダーが抱える課題を解決し、持続可能な森林管理および矢崎グループの事業永続に貢献する。

### 実現したいこと

- 1 造林作業の安全面・向上、少人・省力化による 3K 林業からの脱却
- 2 カーボンニュートラルへの貢献
- 3 自動車事業と林業の垣根を超える新たな価値創出・新規事業創出

## 矢崎グループだからできること

### 造林事業の重点課題

#### 1 作業の安全 / 省力 / 効率化

- ・再造林が進まない主な要因は費用負担の大きさ
- ・労働力不足の一要因は作業の過酷さ

#### 2 資材費の高騰

- ・コンテナ苗生産は最適化されておらず、裸苗に比べコストが高い
- ・エリートツリーの生産 / 出荷は一部県に留まる
- ・物価上昇により、林業資材の価格も高騰

#### 3 木材価値の向上

- ・木材価格の低迷により森林所有者等が林業経営に関心を持ってない
- ・主伐や再造林の投資メリットがなく、山離れが深刻化

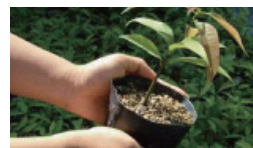
### ソリューション案

#### 造林作業の付加価値創出



造林作業プロセスの見直し  
(作業効率化、生産性向上)

#### エリートツリー育苗生産



早期生産技術の確立  
エリートツリー育苗

#### 労働環境改善



林業従事者専用車の開発  
(3K 改善、安心・安全・快適)

#### 保護ネット研究開発



単木保護ネットの内製化  
作業効率向上・コスト低減

#### 新たな木材需要創出



自動車部品製造  
BtoC 商品の企画・開発  
「使う」促進、雇用の創出



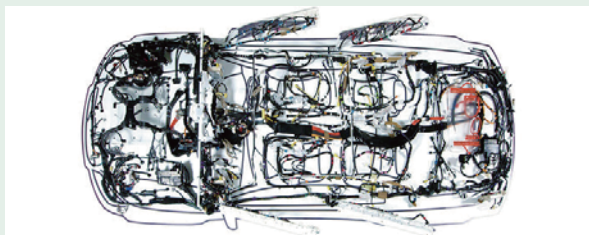
栲原町栲原町をメイン拠点とし、  
YAZAKI 林業モデルの拡大を目指す

# 矢崎総業と林業 参入の背景

## 矢崎グループとは？

### 社会を、あらゆる場所で 支えている信頼の矢崎グループです

クルマの中で、住まいの中で、街の中で、  
矢崎グループの製品は皆様の安全と快適を支えています。  
自動車用ワイヤーハーネスをはじめ、電線、ガス機器、空調機器、  
太陽熱利用機器まで、多種多彩な製品を開発。さらには、介護や  
エコビジネスを中心とした新しい事業にも挑戦しています。



社名	矢崎総業株式会社
設立	1941年10月8日
代表者	代表取締役社長 矢崎 陸
所在地	本社 〒108-0075 東京都港区港南 1-8-15 Wビル 7F Y-CITY 〒410-1194 静岡県裾野市御宿 1500
資本金	31億9,150万円 ※矢崎総業（株）は非上場企業です。
グループ会社	矢崎計器株式会社（1950年設立） 矢崎部品株式会社（1959年設立） 矢崎エナジーシステム株式会社
グループ法人	拠点展開国数：46の国と地域 国内：45法人 海外：96法人計141法人
グループ従業員	国内：17,873名 海外：223,611名 計241,484名

※1 1963年 矢崎電線株式会社として設立、2012年 称号変更  
※2 法人数・従業員数は、矢崎総業株式会社と国内外の連結子会社を対象としており、  
持分法適用子会社、連結除外子会社、関連会社、関係の財団法人は除外しております。  
※3 従業員数は、正社員、準社員、受入出向者、委託、再雇用者を対象としております。  
なお、受入出向者は、当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含みます。

## なぜ自動車部品メーカーが林業を？

01

### 解決すべき課題とニーズ

#### 課題

- 1 労働環境の変化
- 2 自動車事業の変化

#### 顧客のニーズ

- 1 製造コストの低減
- 2 製造リードタイムの短縮
- 3 新たなビジネスモデルの提案

02

### 行うべきミッション

#### 経営リソースの最適配分

直接人員・間接人員の小人化による  
経費削減への貢献

小人化により得られたリソースの  
再配分として、新規事業の創出

## 梶原町との歩み

### 高知県梶原町とともに取り組む、森林資源の地域循環

高知県にある梶原町は、「先人の知恵に学び、自然との共生と循環型社会の実現」という  
基本理念を軸に、森林との真の共生をめざし、未来の子どもたちに大切な地球環境を残す  
“森林の再生”に取り組んでいます。

2005年 森林資源の地域循環利用事業の立ち上げ（行政・地域住民・企業の三位一体により）

2008年 ゆすはらペレット（株）のペレット工場稼働開始

## 梶原町の概要

四国カルストに抱かれた  
自然豊かな山間の小さな町

- ・面積：23,645ha（91%が森林）
- ・人口：3,307人（高齢化率46%）
- ・世帯数：1,513世帯
- ・標高：1,455m

（総務省 R2 国勢調査）

